

令和2年度事業計画案

令和2年5月 1日より

令和3年4月30日まで

本年は創立50年目の年。NTT東西は「固定回線10G」のサービスを提供し、各携帯電話キャリアは「5G」のサービスを提供し始め、固定回線及び無線端末の通信環境は充実してきている。それにより、ブロードバンドサービス競争の激化、多様な無線端末を利用した新たなサービスの拡大、それらに伴うお客様の利用用途の多様化やデータ通信量の増加など大きく変化をしている。その中で家庭や地域コミュニティの生活に密着したICTの新たな活用が必要になってくる。こうした背景のもと、常に本協会の地域に根ざした事業を原点回帰して見つめ直し、更に会員の発展のためより良い事業を目指す。

1 ICT事業の積極的推進

ICTによる働き方改革、生産性・利便性向上により、様々なサービスが提供されている中で固定回線を主業務としていた本協会も、お客様のニーズにこたえる為、NTTの高付加価値サービス等の提供を推進していく。契約しているキャリアも多岐にわたる為、引き続き研修会等を適宜開催しながら販売意欲を高め、売上に結びつくようにしたい。

① 新商材への取り組み

本協会独自のサービスの提供、他社にはないIT企業・システム企業との連携をした商品の販売活動の実施

② テレワーク向け商材の強化

昨今の新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、様々な企業が在宅ワーク、テレビ会議等を実施している。それを受け本協会でもテレワーク向け商材について勉強会を実施し、販売強化を行う。

2 委員会運営について

① 各委員会は委員会内で担当を決め各商材・業務の割り振りを行い、進行をスムーズにさせる。

② 基本的にはテレビ会議により経費削減に努力する。

3 検定試験の推進

テレコムアドバイザー検定に関しての更なる・拡大・推進に努める。

4 コンプライアンスの徹底化

販売代理店の業務の適正性の確保を図るため、販売代理店についての事前届出制度が導入されることとなり、会員の意識革新と常時新知識の習得が必然となっているため、独自の判断によらず、関連法令を遵守した営業とCS向上の徹底化を図る研修会等を適宜開催する。